

秋一二表

の世はゆめまぼろしのごとしけふある
ものはあすはなしさかりのかたちおひ
おとろふる事ほどなしたゝ厄へあまへに
なりて母にともなひて後世へごせへをと
りたまへ極楽へごくらくへまいりてとく／＼むかへん
といへはこのむすめしばしあんじて
うれしき事なりちゝはゝにもそ
ひまいらせぬ身なればいかなるひまも
がなさまかへんとおもひしと申て